

第4回

「エスペラントの日」 記念公開講演会

国際共通語エスペラントの普及が1906年から日本で本格化した日を記念する講演会です。今年は日韓共催のエスペラント大会の開催(10月)にちなんだ内容としました。どなたでもご参加いただけます。

《プログラム》

野間秀樹氏(前東京外国語大学大学院教授)

「ハンゲル：〈文字〉という奇跡」

15世紀、朝鮮王朝にあって、ハンゲルという文字体系はいかに創られたのか?

ハンゲルの誕生と成長を見ることによって、

私たちは〈文字〉というものへの感動を新たにすることになる。

後藤斉氏(東北大学大学院文学研究科教授)

「エスペラント言語文化史の試み」

120年の間にエスペラントを契機として営まれたさまざまな特徴的な活動を

エスペラントの言語文化とみなすことができる。

主に日本におけるいくつかの事例を紹介することで、エスペラント言語文化史を構想する。

日時：2011年6月11日(土) 午後2時～5時

会場：エスペラント会館 4階教室

◆東京都新宿区早稲田町 12-3

地下鉄東西線早稲田駅下車、神楽坂寄り出口1向かい

参加費：500円

【主催・お申込み】財団法人 日本エスペラント学会

電話 03-3203-4581 ファックス 03-3203-4582

メール esperanto@jei.or.jp

当日は関連図書の展示即売とエスペラント古本市を行います。